

薩摩侵攻と尚寧王

1 講座の内容

1609年、琉球に薩摩島津氏の軍勢が侵攻したとき尚寧王はどのように対応したのか。事件そのものだけでなく、そこに至るまでの歴史、尚寧王の生い立ちから即位までの経緯、国内の状況や家臣団の対立、当時の琉球を取り巻く東アジアの国際関係を時系列で追い、薩摩島津氏や豊臣秀吉からの書状などリアルタイムで書かれた外交関係の史料を読み解き、広い視点からその背景を探っていく。

2 講座の概要

- (1) 講師 上里 隆史 氏 (内閣府地域活性化伝道師)
- (2) 日時 令和3年11月18日 (木) 14:00～16:00
- (3) 場所 生涯学習推進センター 南部合同庁舎 4階会議室
- (4) 受講者数 28人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・わかりやすさで人気の上里講師を迎え、尚寧王と薩摩、秀吉との関係や、首里尚家と浦添尚家との確執など、興味深い歴史秘話を学べた。
- ・アンケート結果を見ても、満足度の高い内容であった。受講者に知的刺激を与え、今後の各種講座の受講にもつながりそうである。

4 課題

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、講座が延期になったこともあり、当日欠席者が多く(23名)、空席が目立った。キャンセル待ちの方も多かったので、あらかじめ定員を増やして受け付けるなど対策が必要。